

くわの ひろふみ  
教育委員 桑野 裕文さん



私は幼いころ、年のはじめに「だざいふてんまんぐう」にお参りに行っていました。漢字の読み書きができるようになると、「大宰府」と「太宰府」を使い分けるようになりました。言葉の背景の違いを読み取ることの大切さを教えてくれたのが、「だざいふ」との出会いでした。

最近、ことわざや四字熟語を言ったり聞いたりする機会が減少し、日本語らしさが薄くなったといわれます。私自身、「初心忘るべからず」などのことわざを使うと、年寄りじみて聞こえないかと使うことをためらうことがあります。

メールの普及により、私たち日本語の会話の機会は奪われています。コミュニケーション（話し聞く）は大切です。だざいふ市は歴史と文化の都市であり、国境を越え人の往来が進む観光都市でもあります。文化の違う世界中の人々と接する機会も多いです。言葉を大切にコミュニケーションを心がけていきたいものです。

## 特集

### 【表紙関連】

7月は同和問題啓発強調月間です  
…………… 2~4

### 【表紙関連】

連載:手と手をつないで…………… 5

6月議会市長提案理由説明…………… 10~11

国際交流の事業の紹介…………… 12

市からのお知らせ…………… 13~17

連載…………… 18~29

なんでも情報コーナー…………… 30~37

太宰府の文化財…………… 38

# 市政ニュース

## 団体からの寄附

## 企業版ふるさと納税として寄附をいただきました

### 日之出水道機器株式会社

日之出水道機器株式会社から企業版ふるさと納税として寄附をいただきました。

同社からは平成6年度より継続して多くの寄附をいただいています。これまで、外国語資料や辞典などの購入に活用し、市民図書館の「ヒノデ文庫」として2,200冊以上の図書を購入しました。

本年度もいただいた寄附金で図書の購入を予定しています。ぜひ、市民図書館「ヒノデ文庫」のコーナーを利用してください。



寄附金贈呈式の様子

### 三井住友ファイナンス&リース株式会社

三井住友ファイナンス&リース株式会社から昨年に引き続き「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」に賛同いただき、企業版ふるさと納税として寄附をいただきました。

同社は、古民家宿泊施設HOTEL CULTIA 太宰府の共同出資者として、本市の地方創生に貢献いただいています。

贈呈式の中で、寄附金を太宰府の梅のブランディングに役立ててほしいとの言葉がありました。本市の中核事業である梅プロジェクトの更なる発展のため大切に活用します。



寄附金贈呈式の様子